

Keyword：クレジットマスター

〇〇マスターという、何か専門の資格のように聞こえますが、今回の「クレジットマスター」は、利用出来る他人のクレジットカード番号と有効期限を不正に割り出す手口のことです。日本で流通しているクレジットカードの殆どが4桁ずつ4つのブロックで番号を記載していることから、全てのクレジットカード番号が16桁だと思い込んでいる人が多いかもしれませんが、実はカードを発行している会社によってカード番号の桁数は異なっています(表1)。世界中のクレジットカードやキャッシュカードなどは、それを識別するための「ISO/IEC 7812」と呼ばれる国際規格があり、その規格によって各社の番号が決まっています。このクレジットカード番号の規則性に着目し、プログラムを組んで、算出した番号を手当たり次第に利用して実際に使えるカード番号を割り出すのがクレジットマスターという手口です。クレジットマスターは手当たり次第にクレジットカードの番号を割り出すため、今のところ未然に防ぐ手段はなく、クレジットカード利用者であれば誰もが被害に遭う可能性があります。その基本的な手口を解説する前に、クレジットカード番号の各桁に込められた意味について、一部ご紹介しましょう。

最初の1桁目は「MII：主要産業識別子」と呼ばれていて、10種類の産業別に分類されています(表2)。さらに、先頭から6桁が「BIN：銀行識別番号」または「IIN：発行者識別番号」と呼ばれる番号で、先頭の6桁で「カードの発行会社」が判るようになっていきます。「3」から「5」で始まるカードは最も多く存在する番号で、皆さんがお持ちになっているクレジットカードなどもこの番号を含むカードではないでしょうか。

さて、カード番号が正しいかどうか確認する方法は、以下のようなちょっとした掛け算と足し算をすれば直ぐにわかります。

- ①1桁目、3桁目、5桁目…といった奇数の桁数を2倍にする。
- ②2倍にした数字が10を超える場合にはマイナス9する。
- ③全ての数字を足し算する。
- ④合計の数字が10の倍数であれば正しいカード番号。そうでなければ不正な番号。

この規則に基づいて、エクセルで簡単にカード番号確認表が作れます。作ったエクセルの表に、下のサンプルカードの番号を打ち込むと、④の条件に適合しないため、「存在しないカード番号」と表示されます。16桁目を「0」に置き換えると「正しいカード番号」と表示されました。つまり、理論的には、このカード番号は使える番号ということになります。これを応用したのがクレジットマスターという手口になります。

クレジットマスターによるクレジットカードの被害を未然に防ぐ手段はないので、カード明細に関しては、毎回必ずチェックするようにして下さい。もし、請求名義に心当たりがなかった場合は、不正請求の可能性もあるので、しっかり調べて下さい。ただ、請求名義は必ずしも店舗名とかではなく、運営会社の名義だったり、中には外国経由で請求が来る場合もあるので、不正請求かどうかを一目で見分けるのは難しい場合もあります。見覚えのない請求名義をGoogle等で検索しても、あなたや家族に心当たりがなかった場合や、海外のショップなど明らかに利用していない所から請求が来た場合は、直ぐにクレジットカード会社に連絡をしましょう。不正利用が明らかになれば、盗難保険が適用され自己負担は発生しません。

最初の1桁	産業分類
0	ISO予約値
1	空港関連
2	空港関連・将来発生される産業
3	旅行・娯楽・銀行・金融関連
4	銀行・金融関連
5	銀行・金融関連
6	運輸・銀行・金融関連
7	石油関連
8	ヘルスケア・医療・通信関連
9	国毎に割当可能な数字

表1. 国際ブランドによる桁数の違い

VISA・MasterCard・JCB	(4桁 4桁 4桁 4桁)	16桁
American Express	(4桁 6桁 5桁)	15桁
Diners Club	(4桁 6桁 4桁)	14桁

表2. 産業種別番号と発行者識別番号

国際ブランド	国際ブランド	
	JCB	3540 08
American Express	3542 59	
Diners Club	3584 10	
	3691 15	
	3761 04	
VISA	4220 02	
	4297 69	
	4538 87	
MasterCard	5166 45	
	5208 48	
	5210 12	

表3. 規則に従って簡単な関数を入れて作った表

判定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	判定
存在しないカード番号	5	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	52
正しいカード番号	5	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	0	50

2019 vol.084 5 Legend

榎垣俊幸がモノ申す! ②

エーディープロジェクトの任務



ゼネラルプロデューサー
榎垣 俊幸

エンターテインメントは正義

エンターテインメントの仕事というのは、避暑地を作ることです。「楽しい」というのは一つの逃げ場所、唯一の避暑地です。そこに行くから、また戻って来られるのです。これは動物も本能的にやっていることで、生物が生きていくためには欠かさないことでもあるのです。「それがあから生きていける」ものであり、それも無くなってしまふ社会では「どうでもいいや」と、生きる気力を失ってしまうでしょう。そこを一生懸命に考えて、色々なものを発信するのがエーディープロジェクトなのです。「息詰まっている人々を何とかしてあげる」というのがエーディープロジェクトの看板コピーであり、そういうもののメーカーであると言えるのです。ですから、これからもそういう人々を集めて育てていきたいと考えています。そして、「「エンターテインメント」と「楽しい」は正義」だという考え方こそがエーディープロジェクトの根本理念だと私は考えます。「この会社に頼んだら面白いことになりそうだ」と思ってもらえる会社を目指し続けたいですね。

社会というのは、次の世代がどんどん生まれてきて切磋琢磨するわけで、自分がこれまで体験してきた面白さを次に送らないと伸びていきません。私としては、エーディープロジェクトが培ってきたエンターテインメントを学問的・学術的に育てていく論理学と、体験的に作っていく作品制作のそれぞれが分かれて進化していくと思っています。まだ屁理屈をこねているだけで、エンターテインメントの論理学がありませんから、論理的にも体験学的にも、そういうものを組み立てる用意をするべきだと思います。社員一人ひとりが、エンターテインメントの持つ「楽しさ」



モデル：Dani M / Height:173cm B:81 W:69 H:91
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌

「面白さ」を体現し、実践できる環境を社内で作っていくことが大事だと思います。自分が面白がらないとダメなのです。

ポジティブマインドを拡張させるための発想

ポジティブマインドを高め、社会に拡張させるためには、突飛だと思われる発想が必要なのです。例えば、「アメリカのトランプ大統領とロシアのプーチン大統領にワルツを踊らせたらどう？」という発想から世界は柔らかなるんじゃないか？ということ。それで、そのための音楽を作ったりしたら爆発的なヒットになって世界が楽しくなると思いませんか？二人がダンスをする、ただそれだけで世界が変わってしまうはず。そういう発想を持てるかどうかということなのです。世界から戦争がなくなり平和になるような、笑っちゃうような明るい想像力でポジティブマインドを高め、色々なエンターテインメントとして実現に近づける発想力によって、個々のポジティブマインドが拡散されていくことになるのです。そして、その発想に乗ってくれる大統領が生まれてくるかどうか、この先、社会が幸せになるかどうかの鍵を握っているとも言えるのです。そのためにも、そういう大統領が生まれてくるまで何世代かかってもくじけずに、ポジティブマインドを拡

散し続けなくてはなりません。

「まずはなんでも冗談で捉える」ことがエンターテインメントになりますから、戦車みたいな兵器も冗談だと思えばいいのです。大砲を撃ったら車体の方が飛んじやうみたいな戦車を作ってパレードをすとか、そういうジョークに皆が手を叩いて笑えないような社会はダメ。ジョークで腹を抱えて笑い転げる社会づくりをしましょうということです。そういうポジティブな考え方を基本とするためにもエンターテインメントの役割は重大なのです。たかだか平和のことをそんなに真剣に考えることはないのです。何もしなければ平和なのです。何かをするから平和じゃなくなるのです。何もしないで冗談を言っていればいいのです。

私は最近の若い人たちが作った作品は、あまり観ていません。その理由は、「もっと面白いものを考えているから」ということ。そして、「この世で一番楽しいことを考えているのはエーディープロジェクトだ」ということ。これこそがポジティブマインドなのです。「俺だ！俺だ！」と皆がそう思って面白おかしく暮らせる社会になれば最高なのです。それを作り上げることがエーディープロジェクトの任務だろうと考えます。誰に対するものかわかりませんが、それが「恩返し」だろうと思うのです。

T O M O K O ' S R E C O M M E N D

3月より TOC 五反田メッセで開催している『Exhibitionism ゴザ・ローリング・ストーンズ展』へ行ってきました。2016年4月よりロンドンを皮切りに、ニューヨーク・シカゴ・ラスベガス・ナッシュビル・シドニーと世界各地で大旋風を巻き起こしている『ゴザ・ローリング・ストーンズ展』。日本はアジア唯一の開催地。自らプロデュースを手掛け、バンドメンバーが狭いアパートで共に暮らした部屋を完全再現した初期の時代から、世界のエンターテインメントをリードする存在になるまでの壮大な物語を追体験できる貴重な機会となっています。圧巻なのは一流ブランド、アレキサンダー・マックイーン、プラダ、ディオール、グッチ、エディ・スリマン、ローレン・スコット、ジャン・ポール・ゴルチエなどの煌びやかな衣装(そんでもって細い!)アートでは、アンディ・ウォーホルのミックのシルクスクリーンのシリーズ作品が一番好きなコーナーでした。他にもバンドメンバーが実際に使用した楽器の展示や、体験型ミキシングコーナー、初来日などの日本公演セットも展示。最後は再現されたバックステージから始まる熱狂の3Dコンサートは、臨場感たっぷり!好評につき、6/5(水)迄期間延長しているの、これはホントにおススメです!因みに My Favorite Rolling Stones Song は、ライブの定番「Miss You」と「Gimme Shelter」ですが皆様の好き曲はなんですか? ☺



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4
www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外の方にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。
詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject

検索

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>





ASSOCIATE PRODUCER：黒川和紀

■Theme：似ている言葉。だけど、違う言葉。

伝承と伝統。一見似た言葉に感じるが、全く概念の異なる別の言葉。「伝承」は古くからのものをそのまま後世に伝えていくこと。「伝統」は同じ技術や材料を使いつつも新しいことに挑戦し革新していくこと。つまり伝統とはイノベーションの概念を持つ言葉であって、守るというよりは攻め続ける。といった風なものです。なぜこのような話になったかという点、最近「伝統工芸品」に関わる仕事に携わらせていただいており、「伝統は守り続けなければいけないもの」といった雰囲気か全体的に強く、そこに違和感を覚えたからです。前述に戻りますが「伝統」＝「革新していくこと」なのです。例えば歌舞伎ですが、現代歌舞伎といったカテゴリーを設けることで時代に合わせた革新に挑み続けています。歌舞伎以外にも日本には数多くの伝統文化が存在しますが、こう考えると何となく長く続いている理由が分かります。つまり現状に甘んじることなく挑戦し革新していくものだけが伝統として残る。

代々受け継がれてきたものをそのまま後世に引き継ぐことも大切ですが、付加価値を加えたり新しいことに挑戦することも同じくらい大切なことです。伝統文化とは異なりますが民間企業でも伝統を守りながら素晴らしい取組を実践しています。大塚家具さんが行っている「ReWorth（再び価値あるものに）」です。大塚家具では創業以来「長く愛せるいいもの」をお届けすることを大切にしてきました。その一環として使われなくなった家具を買取り、次のオーナー様のもとへお届けする新しいリユースをおこなっています。丁寧に修理や加工を施すことで、家具本来の価値を取り戻したり、新たな価値を加えたりする、従来の日本のリサイクルとは異なる新しいリユースです。つまり「長く愛せるいいものは、みんなで使い継いでいきましょう。」という日本の家具市場に於いて確立されていなかった「良いものを使い継ぐ」本格的な循環型社会の実現に向けて信頼できる家具リユース市場の確立に取り組んでいるのです。この仕組みって素敵じゃないですか？いいものが破棄されることもなく、信頼のある職人によって丁寧に削り上げられ、さらに現代に合わせてデザインも施される。そして何より通常価格より安く購入できるなんて、素敵な事と言うほかないですね。アウトレットとは全く違う考え方です。伝統を守り、新しいことに挑戦し革新し続けられるか。「やってみなはれ」と事業者の皆さんに言える立場ではないですが、伝統工芸品にとって新たなチャレンジが生まれるような場となるよう、引き続き制作作業に動んでいきます。



EXECUTIVE VICE PRESIDENT：横田 郁夫

■Theme：今ハマっているテレビ番組

皆さんはテレビが好きですか。今回は今私がハマっているおススメの番組をご紹介しますながらちょっとした雑学を勉強したいと思います。それは天下のNHK総合テレビで毎週金曜午後7時57分から放送している「チョコちゃんに叱られる!」という番組です。私は土曜朝、広瀬すずが可愛いテレビ小説「なつぞら」後の再放送を観ています。内容は永遠の5歳チョコちゃんが、レギュラー岡村隆史（ナインティナイン）と毎回変わるゲストに雑学クイズをぶつけて一緒に勉強していくというものです。例えば、「人と別れる時に手を振るのはなぜ?」のように当たり前の素朴な質問クイズで構成されています。ゲストが答えられない時には決まり文句の「ポーっと生きてんじゃねーよ!」が炸裂します。またチョコちゃんの大きな顔の表情がCGで表現されてセリフにピッタリ。またNHKらしからぬ民放番組のパクリも随所にあり、笑えます。是非とも一度ご覧下さい。決して子供向けの番組ではありません。ではここからは雑学のお話です。以下知っている方がいても大目にみて下さい。【第1問】(簡単ですみません) 渋谷109の由来は? (答) 東急系列の読みゴロ合わせから来ているそうです。また営業時間が10時～9時までという意味もあとか。セブンイレブンと同じですね。【第2問】天気予報の降水確率0%のこれをゼロ%とは言わずレィ%と言うのは何故? (答) ゼロは全く無いことを指すのに対し、レィには「きわめて小さい」という意味もあるため予報士の逃げですかね。天気予報を今度注意して観てください。【第3問】シャンプー容器の横にギザギザが付いているのは何故? (答) これはシャンプーとリンスのボトルを触って区別するため、目の不自由な方だけでなく、目をつぶって洗っていても間違わないアイデアだそうです。知らなかった方は浴室のシャンプーボトルで確認して下さい。【第4問】「名刺」はなぜ名前の書いてある紙である「名紙」とは書かないのでしょうか? (答) 江戸時代に人を尋ねた時留守の場合、来たことを知らせるため名前を書いた紙を扉に刺したことから「刺」が使われたそうです。今回は4問とも知っている方が多かったのではないのでしょうか。今回はもう少し難しくするために雑学を紹介したいと思います。話は戻りますがNHKチョコちゃんは非一度観て下さいね。



「チョコちゃんに叱られる!」



【第3問】

Project 1.



趣味は仕事にはいけない? ~昔から言われるお話~



EXECUTIVE PRODUCER：松延 智明

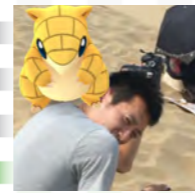
若かりし頃、言われたことはありませんか? 「趣味は仕事にはいけない」というお話。わたしの世代はバンドブームということもあり、高校生の頃は「バンドで食べてやる!」と意気込んでいる友人がたくさんいました。そんなときに現れるのが、親や先生や先輩という人生を先に生きている方々。言葉は違えど「プロの世界は厳しいから、生半可な覚悟ではできない。趣味は趣味のままが良い」と諭します。まあ、間違っているとは言いませんが、疑問の余地はありそうです。なぜなら、社会に出て仕事をすること自体が「プロ」を求められるはずだから。働いてお金を稼ぐ、という点では、どんな仕事でも「プロ」である覚悟が必要ですね。わたしも当然、求められていますから、毎日、胃に穴が空くんじゃないかと思うような緊張に耐え、時には痛みで耐えながら仕事をするわけです(笑)。それはさておき、視点を変えると、意外と趣味は仕事で役に立っているようです。私の趣味は、音楽、競馬、日本酒(お酒)、ボーリング、バスフィッシング、ビリヤードなどがあります。お客様に詳しい方がいらっしゃると意気投合することが多く、プライベートでお付き合いができるようなこともしばしば。それが直接的に発注につながることはありませんが、コミュニケーションが円滑になって仕事がしやすくなるのはあると思います。で、思い出しました。当社の創業者曰く「仕事のできるヤツは行きつけのお店を持っている」。誌面が足りない…。この話が聞きたいかたは、ご連絡ください。一献、傾けながら!



高齢者ドライバーに思うこと。

PRESIDENT：檜垣 俊吾

以前から店舗の駐車場内を子どもと歩く時やガードレールのない歩道を歩く際、高齢者ドライバーの前を歩かないように気を付けていたが、最近ニュースなどで高齢者ドライバーの話題が目立ち、より気になる。とはいえ、私も年間3万キロ走るドライバーなので気を付けている。調べてみると直近の平成30年度は、警視庁が保有する昭和23年以降の統計では、交通事故死者数は過去最少らしい。想像通り、死亡事故に係る運転者は75歳以上の高齢ドライバーの比率がとて高い。しかしなぜ無理な運転をしそうもない高齢者が、そしてサポカー(安全運転サポート車)などが普及してきているのに・・・高齢者が係る事故が増え続けているのかと不思議に思い、詳しく調べてみた。すると・・・ここ10年で75歳以上のドライバーが約1.9倍、80歳以上のドライバーが2.3倍に増加していることが分かった。内閣府のデータによると、75歳以上の人口の約3人に1人が運転免許保有者であり、今後も増加すると推計されている。定年後にやりたいことのトップが国内旅行であったり、自由な時間が多い分、乗車率も高くなり、身体的衰えから車がMUSTになったり、シニア世代の財力が自動車の維持や車の買い替えを可能にしていると思われる。しかし事故について調べてみると、75歳未満のドライバーと比べて、80歳以上のドライバーは約3倍近くの水準で死亡事故を起こす傾向にある。その中身はブレーキとアクセルの踏み間違いが75歳未満の7倍以上。事故者の内、認知機能が低下しているかと判断させるドライバーも49%と、認知機能の低下が死亡事故の発生に影響を及ぼしているのは明らか。国会でつまらない足の引っ張り合いをするよりも、認知症対策を強化した道路交通法を検討・運用すること、運転に不安を覚える人(周りからも含め)に対する専門的な助言・指導を行う運転適性相談みたいなものを充実させ、高齢者の運転適正検査の改善と、運転免許証の自主返納を促進してほしいと思う。



ついに新元号「令和」がスタート!

第1プロジェクト 阪本 崇裕

新元号「令和」が5月1日にスタートしてGWも大盛り上がりでしたね。今回は、新元号の由来や意味について、ニュースでは耳にしたものの、しっかりと知らなかった方向けに、改めてご紹介させていただきます。由来は、「万葉集」の梅花の歌が典拠です。皆さんはご存知だと思いますが、「万葉集」は奈良時代の日本最古の歌集で、天皇・皇族・歌人や農民など幅広い階層の人々が読んだ約4,500首の歌が収められています。首中は「豊かな文化と伝統を象徴している国書である」と約しています。意味は「明日への希望と共に、日本人一人ひとりが大きな花を咲かせる」という願いを込めて「令和」という文字が選ばれたようです。枠内のように、「梅花の歌」で「令」と「和」が使われています。「初春の令月」は、何事をするにもよい月、めでたい月。という意味だったことから、元号が令和になった瞬間に婚姻届けを提出するカップルが多かったのだと推測できますね。因みに、「和」の漢字使用は20回目で、「令和」は、日本最初の元号「大化」から248番目にあたります。

「梅花の歌」 -万葉集入門より引用- 初春の令月にして、 気淑(よ)く風和ぎ、 梅は鏡前の粉(こ)を披(ひら)き、 蘭は珮後(はいご)の香を薫(か)をらす。

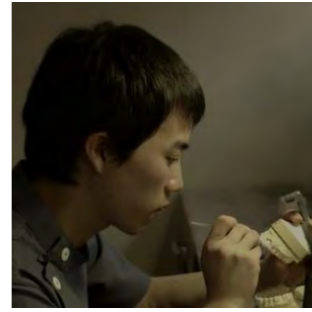
Project 2.

土井 晃範

■Event：伝統芸能×新技術 能楽「大会(だいえ)」～天狗の恩がえし～

■Date：2019年3月30日・31日

■Place：世界遺産二条城 二の丸御殿台所



皆様こんにちは!

『令和』になる瞬間にクラッカーを鳴らそうと準備していたら、22時頃力尽きて寝てしまった33歳の土井です。

久々のadtain執筆ですので、今回はNHKエンタープライズ様よりお話を頂きまして、制作運営業務に携わりましたイベントのご紹介をさせていただきます。

皆様は能楽をご覧になったことはありませんでしょうか? 能楽を始め、狂言・歌舞伎・落語といったワードを耳にすることはあるかと思いますが、なかなか生(ライブ)で観る機会はなく、興味はあっても触れたことがない人が多い気がします。

今回のイベントは、「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-prologue」の中の一つのプログラムで、能楽公演の新しい体験方法を試みる取組として、通常は非公開である世界遺産二条城の台所を舞台に開催されました。どの点が新しい試みかというと、観世流若手能楽師による公演を撮影し、同時に物語の情景を美しいCG等で表現した映像をリアルタイムで合成して能楽の実演と合わせて御覧頂くというところ です。

想像以上に違和感無く、伝統芸能と新技術が融合していました。

本公演は今回限りのものでしたが、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-」は2020年に向けて、今後も様々な取組を行っていきます。

満開の桜が溢れる古都京都で文化芸術に触れるという新たな大人の楽しみ方を知る貴重な経験でした。

イベントチラシ



PRODUCER：岩下 信而

■Theme：10連休のエンタメ報告

■Date：2019年5月

■Place：東京、さいたま

史上初のゴールデンウィーク10連休、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。ぼくは7勤3休(サポタージュ含)いつも通りのペース、いわば平常営業でした。とある1日をご紹介します

朝：おじさんだから、パキッと朝早く目が覚める。慣れてくると、トクした気分が嬉しい。移動中、録画したアペブラを観る。お気に入りの美少女クリエイター、ハヤカワ五味ちゃんが出演の回に当たると、一日中上機嫌。MCでは、混ぜっかえすだけの吉本芸人たちとは違い、カンニング竹山のコメントが小気味よい。武田鉄矢のようにならないことを祈る。

昼：弊社はコクーンシティ4周年アニバーサリーイベントを担当。仮設のボルダリングなどのファミリー向け遊戯と、施設テナント様渾身のマルシェ屋台ブース。そしてモンマルトルの路地から現れそうな(盛りすぎかな)国内外の粋なミュージシャンが奏でる屋外ライブ、そして最終日はANZEN漫才で大盛況!

夜：皆で酒を飲んだ後、今はまっている「オレンジ・イズ・ニューブラック」を2〜3話観て眠りこける。Netflixユーザーの皆さん、遅れてごめんよ。「監獄のお嬢さん」でクドカンもオマージュした、女性刑務所を舞台にしたコメディ。女囚同士が助け合い、裏切り合い、憎しみ合い、愛し合う(時にはセクシャルに)。回想シーンも交え、毎回様々なエピソードで飽きさせない。

さて、拙文で「永遠のロックンロール少年宣言」をしているからには、「行かねばならぬのじゃ」と平手造酒(知らない人はググってね)気取りで行って参りました「ザ・ローリング・ストーンズ展」。とは言えぼくは、ポールやブライアン・ウィルソンのようなアンサンブル重視のメロディメーカーばかり追いかけてきたので、ストーンズの良いリスナーとは言えなかった。だけど、70過ぎても啞煙草で変則チューニングを奏でているキース・リチャーズをはじめ、ミック、チャーリーはともキャラクター。今回のコクーンシティでは、ぼくのFavorite「Start Me Up」(1989)に乗せて、みやぞんが踊ってくれた。因みにドナルド・トランプもこの曲が好きみたいです。肝心の展示内容は、伊豆大島地区で唯一のロックンロール娘、弊社経理担当根本朋子のコラム(表4)でお楽しみください。では次号、Ciao!



「キリトリ線ストッキング」 祝4周年、次のビッグイベントは、「シンデレラバスト」を考案 コクーンシティ夏祭り



オレンジ(囚人服)が次のトレンドっていう意味

Project 4.